

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会

【7月分】

課(室):スポーツ健康課

その1

担当者:芝山玲子(内線)3588

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第29回全日本大学ホッケー王座決定戦						
女子		1位	H22.7.4	東海学院大学		東海学院大は天理大との決勝戦前半で2点を先制し、後半は1点与えたものの、堅い守りで2年連続5度目の優勝に輝いた。 (京都府京都市:柘野ホッケー場)
男子		2位		朝日大学		朝日大は決勝後半で連続2失点するとそのまま流れを変えられず、1-3で立命館大に敗れ惜しくも2位となった。 (同上)
ジャパンオープン・荻村杯2010国際卓球選手権神戸大会 女子ダブルス		1位	H22.7.4	山梨 有理 (十六銀行)		山梨らは強豪をかわしながら決勝トーナメントを勝ち上がり、決勝では台湾のペアを4-2で破り、見事初優勝した。 (兵庫県神戸市:神戸総合運動公園 グリーンアリーナ神戸)
バドミントンUSオープン2010 女子ダブルス		2位	H22.7.24	脇田 侑・江藤理恵 (岐阜トリッキーパンダース)		脇田・江藤組は台湾のペアに0-2で敗れ、準優勝となった。 (アメリカ・カリフォルニア州:オレンジカウンティバドミントンクラブ)
第23回全国少年フェンシング大会						
クラスB(小学4年～6年)男子		1位	H22.7.25	鈴村 健太 (はしまモアFC)	茜部小6年	クラスB(小学4年～6年)において、岐阜県勢が1位、2位を独占する快挙となった。 (東京都台東区:台東リバーサイドスポーツセンター体育館)
		2位		伊藤 拓真 (大垣ジュニアFC)	福東小6年	
クラスA(中学生)女子	2位	伊藤 真希 (大垣ジュニアFC)		輪之内中2年		
クラスB(小学4年～6年)女子	3位	辻 すみれ (はしまモアFC)		茜部小5年		
第34回全日本女子パワーリフティング選手権大会 90kg級		1位	H22.7.25	加藤 みどり (きくいけ整形外科)		加藤はトータル435kgを記録し、6年連続の優勝を果たした。 (東京都世田谷区:駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場)
第30回全日本中学選手権競漕大会						
女子ダブルスカル		2位	H22.7.25	篠田結花・佐伯真奈 (川辺中3年・2年)		篠田・佐伯組は序盤でリズムを崩したものの、中盤で立ち直り、トップ争いを展開。しかしラストスパートで及ばず、トップとわずか0.6秒差で2位となった。 (岐阜県海津市:長良川国際レガッタコース)
男子シングルスカル		3位		武石 雅貴 (飛水会)	八百津中3年	武石は中盤以降も順位をキープし、3分45秒37で3位となった。 (同上)
平成22年度全国高等学校総合体育大会						
フェンシング	男子フルレー個人	1位	H22.7.30	伊藤 真 (大垣南高2年)		伊藤は決勝序盤で相手の癖を見破ると、そのすきを徹底的に攻撃し、4連続ポイントを決め、得意のカウンターでペースを作り、2年生にして見事初優勝を飾った。 (沖縄県金武町:金武町立体育館)
	男子サーブル個人	1位	H22.7.31	丹羽 研輔 (羽島北高3年)		丹羽は決勝で相手のアタックを足でかわし、カウンターを当てる得意のスタイルで見事初優勝を飾った。(同上)
陸上競技	女子3000m競歩	2位	H22.7.30	中原 舞 (済美高3年)		中原はラスト1周でラストスパートをかけ、2位に浮上し自己ベストとなる13分30秒69をマークし、準優勝を決めた。 (沖縄県沖縄市:沖縄県総合運動公園陸上競技場)
弓道	女子団体	1位	H22.7.31	岐阜総合学園高校		岐阜総合学園高は決勝で12-12の同点となったが、同中競技を4-2で制し、県勢としては男女合わせて初となる高校日本一の快挙を成し遂げた。 (沖縄県那覇市:沖縄県立奥武山総合運動場武道館特設弓道場)
自転車競技	3000m個人追い抜き	3位		矢野 智哉 (岐南工高3年)		矢野は惜しくも大会2連覇を逃したが、3分39秒391で3位決定戦に勝利した。 (沖縄県北中城村:沖縄県総合運動公園自転車競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第48回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会					
10mエア・ライフル立射60発競技男子団体	1位	H22.7.31	郡上北高校 (大坪雄一郎・清水洋介・佐藤旬兵)		郡上北高は1708点をマークし見事優勝した。 (広島県安芸太田町:つつがライフル射撃場)
10mエア・ライフル立射60発競技男子個人	2位		大坪 雄一郎 (郡上北高3年)		大坪はトップと3.1点差の683.3点で2位となった。 (同上)
ビーム・ライフル立射60発競技男子個人	1位		土屋 陽平 (済美高1年)		土屋は1年生ながら726.8点を記録し、堂々の初優勝を決めた。 (同上)
10mエア・ライフル立射40発競技女子団体	1位		済美高校 (谷口紗英・本田光希・松巾亜由)		済美高は1161点をマークし見事優勝した。 (同上)
10mエア・ライフル立射40発競技女子個人	2位		谷口 紗英 (済美高2年)		谷口は1位との差わずか0.6点で2位となった。 (同上)